

市立美術館特別展

鱸利彦(すずきとしひこ)生誕 120 年展

知られざる宮崎の才能

宮崎を中心とする美しい風景を多くの人に伝えた功績から、平成 2 年に宮崎県文化賞を受賞された鱸利彦氏の生誕 120 年展を開催します。特別展では、遺族より寄贈を受けた約 80 点の作品・資料を中心に、高島屋図案部時代の資料などを含む約 100 点を紹介します。

□名称： **鱸利彦 生誕 120 年展**

□会期： 平成 26 年 **11 月 1 日 (土) ~ 12 月 14 日 (日)**

月曜日休館（月曜が祝日の場合その翌日）

□入 場 料：一般 800 円、高大生 600 円、中学生以下無料

※11 月 3 日（文化の日）：全員に無料で開放

※11 月 16 日（家庭の日）：高校生以下同伴の家族につき無料

□会 場：都城市立美術館

□展示内容：油絵約 80 点、資料約 20 点 合計約 100 点

□主な出品予定作家：鱸利彦、藤島武二、岡田三郎助、和田英作、高岡徳太郎ほか

□主催：都城市立美術館、BTV ケーブルテレビ

□協賛：霧島酒造株式会社

□協力：高島屋史料館

■開 会 式：(内覧会) 2014 年 10 月 31 日 (金) 15:00~

【鱸利彦 すずきとしひこ 略歴】

1894 (明治 27) 千葉県 (旧) 国府村字谷向に生れる
1896 (明治 29) 宮崎県 (旧) 宮崎町字江平に移り住む
1907 (明治 40) 旧制宮崎県立宮崎中学校入学 (現在の宮崎高校)
1913 (大正 2) 東京美術学校西洋画科 (現在の東京芸術大学) 入学
藤島武二、和田英作、黒田清輝らに教わる
(同級生に谷口午二初代鹿児島市立美術館館長)
1918 (大正 7) 第 12 回文展へ「婦人像」入選、
以後、帝展へも度々入選する。
高島屋図案部へ就職
1930 (昭和 5) 渡仏
1946 (昭和 21) 二科会に入会
1950 (昭和 25) 共立女子大学教授となる
1955 (昭和 30) 二科退会、一陽会結成 (創立メンバー)
1967 (昭和 42) 一陽会を退会
以降は個展を続け作品を発表
1990 (平成 2) 宮崎県文化賞受賞 (文化功労部門)
1993 (平成 5) 98 歳にて逝去